



市長の政治姿勢を問う

誠心会 ● 加藤 貞一郎 議員

行政改革は市民と共に

問 まちづくりを進め

ていく上での一番の大きな課題は、まさに財政的課題であり、その課題解決に向けた取組みこそが行政改革であります。そうした中、市民に深く関わる行政改革が、市民サービスの低下につながるような現実が見えた場合や市民の思いが声として大きく膨らんできた場合には、その声を真摯に受け止めていただき、もう一度原点に立って、それを見直す勇氣を持っていただきたいと思えます。

その声の背景には、先人たちが汗して創り上げてきた文化と歴史があることを、我々は忘れてはいけないうちと思っています。

行政改革を進めることに相当な勇氣はいります。

しかし、時間を費や

し市民にしっかりと説明責任を果たし、時間をかけて前に進めることの勇氣も必要です。

そうした中、今後の行政改革の実施に向けた考えについてお尋ねします。

答 今後は、行政改革として取り組む公共施設総合管理計画の実施に向けては、市民生活への影響にも配慮しながら、その都度市民の皆様丁寧な説明を行い、ご理解をいただきながら取り組めます。

公共施設総合管理計画における対象施設

本計画においては、ハコモノ施設に限らず本市が所有する全ての講評施設を対象とします。

- 公共施設…学校や公民館、スポーツ施設など日常的に市民が利活用しているハコモノ（建築物）施設
- インフラ施設…道路や橋梁、公園、上水道、下水道施設などの市民が生活する上でのライフライン施設
- その他施設…その他公共施設、本市に関わる公営企業や、一部事務組合の設立により共同運営をしている施設



台風到来！防災無線は役立った？

誠心会 ● 松山 克子 議員

問 台風5号到来時の

防災行政無線情報は、声の質、テンポなど改善点はありますか。

答 市民から「何を言っているのかわからない」などの声が寄せられました。防災無線は屋外を対象としており、反響しにくく聞き取りやすい合成音声です。今回は緊急を要したので登録したものが自然発報されました。屋内用には音声自動電話、タウンメールやテレビ等、補完するツールの周知に努めます。

視覚障がい者の立場に立って理解を

問 湖南市視覚障害者福祉協議会は、交流を図りながら各種の活動をしています。メンバーは16名、多くの参加を願っています。市内の視覚障がい者の状況は。

答 手帳持参者は96名、会の勧誘に郵送しまし

たが返信はありません。

問 ホームからの転落や列車と接触した事故は過去5年間に全国で481件ありアンケート回答者の4割が経験しているとのこと。協会がJRへの要望を提出されていますが。

答 社会福祉課を通して聞いています。事務的にも改善出来ることなど、現在取りまとめ中です。



急な石部駅から早急な改善を望んだ視覚障がい者

図書館事業について

問 好評であったコンサートも展示コーナーの一般利用もなくなりました。経緯と理由は。

答 図書館法に基づき、限られた予算の中で図書館の役割を果たすべきものから優先して、事業を行っています。